

製品番号: LIQ2020
LIQ2022



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している： JIS Z 7253:2019

AEGIS® Pit Filler

発行日 02-15-2024

改訂日 02-15-2024

改訂番号 22

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 AEGIS® Pit Filler

登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

製造者

AEGIS Tools International
908 West Main St.
Laurel, MT 59044
Tel: +(1)-800-548-7341
Fax: +(1)-406-628-8354

責任に関する表明

電子メールアドレス

rachaelm@wpg.com

緊急連絡電話番号

Chemtrec @ 001-703-741-5970 (24 hrs)
+(81)-345209637 (日本)

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 情報なし。

使用上の制限 消費者用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	分類できない

生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3
区分 1	
区分 3 標的臓器影響: 気道刺激性。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
区分 2 呼吸器。	
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語: 危険

危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器。

注意書き**安全対策**

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること

取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

保管

施錠して保管すること換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

廃棄

内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

性および慢性の水生影響のテストは環境分類は必要ありません決定されます。OECD試験No. 202 : ミジンコ類急性遊泳阻害試験。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
アクリル酸2-ボルニル	5888-33-5	25-39	既存	(4)-1552	既存	7-(2)-96
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	10-24	既存	(2)-1044	既存	(2)-1044
アクリル酸	79-10-7	3-5	既存	(2)-984	既存	(2)-984
Silane Coupling Agent	所有権	1-3	既存	記載されている	既存	記載されている

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

変換係数のデータが無い場合は係数は1として算出

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
*	アクリル酸及びその水溶性塩			5.0	第1種指定化学物質	1-6	4
*	トリメトキシ [3-(オキシラン-2-イルメトキシ)プロピル] シラン			2.6	第1種指定化学物質	1-344	693

* 政令名称を参照

労働安全衛生法

通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3

化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
アクリル酸	アクリル酸	79-10-7	4.9	

表示対象物質

法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表第3

化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
アクリル酸	アクリル酸	79-10-7	4.9	

毒物及び劇物取締法

化学名又は一般名	CAS番号	毒物及び劇物	閾値 (%)
アクリル酸	79-10-7	Deleterious	>10

4. 応急措置

一般的なアドバイス

直ちに医師の手当てを受ける必要がある。治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに石けん(鹼)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。

眼に入った場合

直ちに医師の診察／手当てを受けること。直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は目を大きく広げたままにすること。受傷部をこすらないこと。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

灼熱感。掻痒感。発疹。じんま疹。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。

医師に対する特別な注意事項

過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置**適切な消火剤**

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤

高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性

製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。指定された個人用保護具を着用すること。十分換気されているか確認すること。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

緊急対応を行う者のための保護具

項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

封じ込め方法

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法

回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報

項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****安全取扱注意事項**

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと

十分換気されているか確認すること

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

汚染された衣類及び靴を脱ぐこと

蒸気又はミストを吸い込まないようにすること

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと、光から遮断すること、十分換気されているか確認すること。

衛生対策

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること

適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと

休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと

保管**安全な保管条件**

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること

施錠して保管すること

子供の手の届かない場所に保管すること

容器を密封して換気のよい場所に保管すること、光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置**許容濃度**

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
アクリル酸 79-10-7	-	-	TWA: 2 ppm S*

生物学的モニタリング指標

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない

設備対策

シャワー

洗眼場

換気システム。

環境ばく露防止

情報なし。

保護具**呼吸用保護具**

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。

手の保護具

適切な手袋を着用する。ニトリルゴム、ブチルゴム。

眼及び又は顔面の保護具

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。

9. 物理的及び化学的性質**物理的及び化学的性質に関する情報**

外観	透明	
物理状態	液体	
色	無色	
臭い	特異臭	
臭いのしきい値	情報なし	
特性	値	備考・方法
融点／凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		情報なし
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点	101 °C / 213.8 °F	ペンスキー-マルテンス密閉式試験器(PMCC)
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度	4,000 cP	情報なし
水への溶解度	水に不溶性	
溶解度		情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度及び又は相対密度		
相対密度		情報なし
蒸気濃度		情報なし
かさ密度		情報なし
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		
粒径		
粒径分布		
その他の情報		
爆発性	情報なし	
酸化性	情報なし	

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし。

化学的安定性

通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性

通常の条件下で安定。

避けるべき条件

情報なし。

混触危険物質

強酸。強塩基。強酸化剤。

危険有害な分解生成物

提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。

機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

製品情報

経口

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

吸入

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれ。

皮膚接触

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。反復又は長期にわたるばく露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。皮膚刺激。

眼接触

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。重篤な眼の損傷。眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix (経口):	6,517.30 mg/kg
ATEmix (経皮):	11,814.80 mg/kg
ATEmix (吸入 - 粉じん/ミスト):	56.10 mg/l
ATEmix (吸入 - 蒸気):	99,999.00 mg/l

混合物の0%は急性経皮毒性が未知の成分から成る

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入LC50
アクリル酸2-ボルニル	= 4890 mg/kg (Rat)	> 3000 mg/kg (Rabbit)	-
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	= 5050 mg/kg (Rat)	> 3000 mg/kg (Rabbit)	-
アクリル酸	= 193 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	= 11.1 mg/L (Rat) 1 h = 3.6 mg/L (Rat) 4 h
Silane Coupling Agent	= 7.01 g/kg (Rat)	= 3.97 mL/kg (Rabbit)	> 5.3 mg/L (Rat) 4 h

症状

発赤。灼熱感。失明を引き起こすおそれがある。掻痒感。発疹。じんま疹。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性／刺激性

皮膚刺激のおそれ。成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。薬傷を引き起こす。重篤な眼の損傷。

呼吸器感受性又は皮膚感受性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性

変異原性が知られている又は変異原性が疑われる物質を含んでいる。成分に対して利用可能なデータに基づく分類。遺伝性疾患のおそれの疑い。

発がん性

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
アクリル酸 79-10-7	-	Group 3

凡例

国際がん研究機関

グループ3-ヒトに対する発がん性について分類できない

生殖毒性

区分に該当しない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

標的臓器影響

呼吸器。眼。皮膚。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ：呼吸器。

12. 環境影響情報

製品情報

性および慢性の水生影響のテストは環境分類は必要ありません決定されます。OECD試験No. 202：ミジンコ類急性遊泳阻害試験。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
アクリル酸2-ボルニル	ErC 50 = 2.7 mg/L 96h (Pseudokirchneriella subcapitata)	LC50: =0.704mg/L 96h (Danio rerio)	EC 50 = 1.1 mg/L 48 h (Daphnia magna)
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	-	LC50: 213 - 242mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =227mg/L (96h, Pimephales promelas)	EC50 > 380 mg/l 48 h (Daphnia magna)
アクリル酸	EC50: =0.04mg/L (72h, Desmodesmus subspicatus) EC50: =0.17mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata)	LC50: =222mg/L (96h, Brachydanio rerio) NOEC: >= 10.1mg/L (45d, Oryzias latipes, OECD 210)	EC50: =95mg/L (48h, Daphnia magna) NOEC: =3.8mg/L (21d, Daphnia magna)
Silane Coupling Agent	-	LC50: =55mg/L (96h, Cyprinus carpio)	-

残留性・分解性

情報なし。

生態蓄積性

この製品のデータはない。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
アクリル酸2-ボルニル 5888-33-5	4.52
2-ヒドロキシエチルメタクリレート 868-77-9	0.42
アクリル酸 79-10-7	0.46

土壌中の移動性

情報なし。

オゾン層への有害性

分類できない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響

情報なし。

13. 廃棄上の注意**残余廃棄物**

現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装

空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意**IMDG**

規制対象外

ADR

規制対象外

IATA

規制対象外

日本

規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当する詳細情報については項目3を参照

労働安全衛生法

通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3

表示対象物質

法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表第3

毒物及び劇物取締法

化学名又は一般名	毒物及び劇物取締法
アクリル酸	-X

消防法：

引火性液体、第4類、第3石油類、非水溶性液体、危険等級III、2000リットル

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

化学名又は一般名	CAS番号	化審法
アクリル酸	79-10-7	優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病-労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

水道法

水道法-要検討項目

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質
大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約

該当しない

ロッテルダム条約

該当しない

国際インベントリー

TSCA	適合する。
DSL/NDSL	適合する。
EINECS/ELINCS	適合する。
化審法インベントリ	少量免除(SVE)。
IECSC	適合する。
KECL	Polymer of Low Concern (PLC).
PICCS	収載なし。
AIIC	Low Volume Exemption (LVE).
NZIoC	適合する。
TCSI	TCSI - Polymer of Low Concern. Low Volume Exemption (LVE).

凡例:

TSCA	- 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL	- カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
EINECS/ELINCS	- 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS	- 化審法既存物質
IECSC	- 中国現有化学物質名録
KECL	- 韓国既存化学物質目録
PICCS	- フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AIICS	- オーストラリアの工業用化学物質導入スキーム
NZIoC	- ニュージーランド化学物質インベントリー
TCSI	- 台湾既存化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日	02-15-2024
改訂記録	SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例**凡例項目8: ばく露防止及び保護措置**

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)
 米国環境保護庁ChemViewデータベース
 欧州化学品局
 欧州食品安全機関(EFSA)
 EPA (米国環境保護庁)
 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
 米国環境保護庁高生産量化学物質
 フードリサーチジャーナル(Food Research Journal)
 危険有害性物質データベース
 国際統一化学情報データベース(IUCLID)
 製品評価技術基盤機構(NITE)
 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
 NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
 米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)
 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり